



Chitose Institute of Science and Technology

# 千歳科学技術大学報

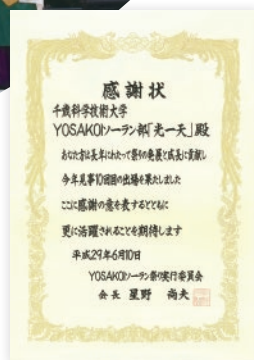
Volume

# 43

平成29年7月31日



## 「光一天」が第26回 YOSAKOI ソーラン祭りで表彰されました



2017年6月7日(水)から11日(日)にかけて開催された「第26回 YOSAKOIソーラン祭り」に、「千歳科学技術大学 YOSAKOIソーラン部」が「光一天」が出場しました。

2003年にサークルとして誕生し2006年に初出場を果たして以来、今年で参加10回目を数えたことに伴い、YOSAKOIソーラン祭り実行委員会より感謝状が授与されました。

また、皆さまからの温かいご声援のおかげで今年もは敢闘賞を受賞することができました。

今後も様々なイベントに参加し演舞を披露してまいりますので、千歳科学技術大学 YOSAKOIソーラン部「光一天」をよろしくお願いたします。

発行／学校法人千歳科学技術大学企画総務課  
千歳市美々 758 番地 65  
TEL.0123-27-6001  
ホームページ www.chitose.ac.jp

# 大学改革

本学は2018年4月に開学20年を迎えます。

「光科学」を専門とし、「光科学の産業ならびに技術拠点を形成する」目的で1998年に開学しましたが、その後のITバブル崩壊などを経て光産業の勢いが当初もくろみ通りには推移しなかったこともあり、開学10周年で光科学をベースにしながらも分野の幅を広げた「総合光科学部」3学科体制とし、2015年にはさらに幅広く「理工学部」に変更しました。この間、大学受験層の18歳人口は大幅に減少し、開学時の約160万人が現在は120万人と25%減になりました。外部条件がすべてではありませんが、本学の学生募集も苦戦しており、近年は定員割れが続いています。

このような状況の打開に向けて抜本的な大学改革を検討した結果、地域社会における知的・文化的拠点としての中心的役割を担う大学として、これからも一層教育と研究を発展させ、さらに全学的に地域活性化に貢献してゆくために、公立大学法人化の検討に関する要望書を昨年12月、千歳市へ提出しました。

今回の大学改革が過去の組織再編時と大きく異なるのは、もっとも基本となる法人組織変更でもあり、その方向性をトップダウンで打ち出したことです。もちろんその後、特別チームを組んで教育・研究・地域貢献について基本からの議論を進めています。

公立のブランド力、授業料の大幅な低減など、実現すれば大きなアドバンテージを得るには違いありませんが、名前だけでブランド力を維持できるはずはありません。公立に相応しい教育・研究・地域貢献に対する体制を整え、名実ともにブランドに恥じない大学に脱皮できなければブランドを毀損しかねません。

そのために昨年採択された文部科学省補助事業である「大学教育再生加速プログラム／卒業時の質保証」に向けた教育改革を全教職員参加のもとに進めています。また、大学の地域に向けた構想として“Smart Nature City”を提唱し、地元千歳市をまるごとブランド化する“Smart Nature City ちとせ”を提案しています。また大学の特徴として「光科学やシステム基盤技術と最先端のICT応用技術を融合」することで、AIやIoTがキーワードとなる今後の社会で活躍できる人材を輩出することを志向しています。

公立化の実現は、千歳市ならびに千歳市議会の判断が今年度末の予定であり、確定してはいませんが、成人を迎える本学の進むべき道として鋭意具体的な計画立案を進めておりますので、ご意見、ご支援をいただければ幸いです。



千歳科学技術大学 学長

川瀬 正明

## 平成29年度千歳科学技術大学・大学院入学式を実施しました

2017年4月8日(土)、本学講堂において平成29年度千歳科学技術大学・大学院入学式を挙行し、この日理工学部213名、大学院光科学研究科12名の計225名が新たな一歩を踏み出しました。

式は、ご多忙にもかかわらず、多くの来賓・保護者のご臨席を賜り、午前10時から始められました。式では、川瀬正明学長による式辞に続き、新入生を代表して理工学部1年生の五十嵐恵吾さんによる宣誓が行われました。また、伊澤達夫理事長、山口幸太郎千歳市長からもそれぞれお祝いの言葉をいただきました。

入学式終了後は、引き続き保護者を対象とした保護者説明会を開催しました。山中明生学部長による大学概要説明に続いて、大学教育センター、学生支援センター、キャリアセンターの各センター長より学習、学生生活、キャリア指導等に関する説明が行われました。



▲伊澤理事長



保護者説明会の様子▶

# トピックス

## 夢ナビライブ2017東京会場に参加しました

2017年7月22日(土)東京ビッグサイトで開催された、高校生を対象とした「夢ナビライブ2017」に参加しました。夢ナビライブとは、自分が学びたい学問を発見し、そのイメージを明確にしたり、進学に関して気になることを大学関係者に直接質問したり、説明を受けることができるイベントです。毎年、究めたい学問の発見から学べる大学との出会いまで、一度に体験できるまたとない機会となっており、当日は47,170名の来場者がありました。

本学からは、2名の先生が右記のテーマで講義を行い、大勢の聴講者が集まり、講義の後に相談ブースに熱心に質問に来る生徒もいました。



「コーヒーイクラを作ろう！  
ブースで試食可！」

応用化学生物学科  
オラフ・カートハウス 教授



「色鮮やかな  
光をつくる化学の魅力」

応用化学生物学科  
坂井 賢一 准教授

## 台湾の高校生が 大学見学に来学しました

2017年5月26日(金)台湾の台北市立中正高級中学(高等学校)の生徒33名と引率者6名が大学見学に来学しました。

5泊6日の日程で来日し、北海道の自然や歴史に触れ、道内の高校生と交流しました。本学では学食体験と大学施設見学、授業見学を行いました。皆さん楽しんでいただけたようでした。



## 千歳版環境マネジメントシステム 「ECOちとせ」に認定されました

本学の昨年度における電力量やLPG量の削減など、環境にやさしい取り組みが千歳版環境マネジメントシステム「ECOちとせ」の審査基準に適合していることが認められ、千歳市より認定証(継続認定)が交付されました。

認定証の有効期間は、2017年7月1日から2018年6月30日までとなります。

今年度も環境にやさしい取り組みを継続し、「ECOちとせ」認定期間の更新を目指します。



## 平成29年度第1回光テクノロジー 応用懇談会を開催しました

2017年7月14日(金)特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム(PWC)主催の第1回光テクノロジー応用懇談会において、情報システム工学科 山川広人助教が招待講演を行いました。

山川助教は千歳市内の路線バスを対象としたバスロケーションシステムの実証開発を千歳市、本学、地元IT企業の産学官連携体制で平成26年冬から行っています。昨年からは試験運用を開始し、バス事業者を区別することなくリアルタイムの運行情報をパソコンやスマートフォンから確認出来るようにしました。また、JR千歳駅や市民病院、市内のスーパーにも電光掲示板を設置し、利用者の利便性向上に役立っています。このシステムは利用者だけではなく、バス事業者の運行管理にも役立っており、今後機能や性能の向上を目指しています。



## 「ものづくり学校祭2017」に参加しました

2017年7月31日(月)に市立札幌開成中等教育学校で開催された「ものづくり学校祭2017」に参加しました。

「ものづくり学校祭2017」は、主に札幌市内の高校1年生が「ものづくり」、「IT」、「たべもの」、「エコ」、「バイオ」に関連する出展を体験し楽しむことでも、ものづくりの楽しさや意義、今の学びがどのように将来に繋がっているのかを実感してもらうことを目的として開催されました。(主催:札幌市)

本学は、「素材からつくる、新しい光・電子デバイス」をテーマとして、応用化学生物学科の大越研人教授、高田知哉准教授、平井悠司専任講師、電子光工学科の長谷川誠教授とそれぞれの研究室の学生が来場者にもものづくりのおもしろさを伝えました。



## 公開講座を開催しました

2017年度の公開講座(第1回、第2回)を以下のとおり開催しました。多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。

## 第1回公開講座

- 日 時：2017年6月3日(土)14:30~16:30
- 会 場：北ガス文化ホール(千歳市民文化ホール)3階視聴覚室
- 後 援：千歳市教育委員会、  
特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演 題：AIとVRがクリエイトする近未来像  
～キーワードは「だまし」?～
- 講 師：千歳科学技術大学 情報システム工学科  
教授 村井 哲也
- 参加者数：37名

## 第2回公開講座

- 日 時：2017年7月22日(土)14:30~16:30
- 会 場：北ガス文化ホール(千歳市民文化ホール)4階小会議室1
- 後 援：千歳市教育委員会、  
特定非営利活動法人ホトニクスワールドコンソーシアム
- 演 題：これも詩ですか?  
北園克衛のプラスチック・ポエムについて
- 講 師：千歳科学技術大学 情報システム工学科  
准教授 小川 正浩
- 参加者数：12名

## オープンサイエンスパーク千歳 ～こんなにすごい!! 身近な生き物たち

2017年7月29日(土)、30日(日)に「オープンサイエンスパーク千歳 ～こんなにすごい!! 身近な生き物たち」が、市内の小中学生を集めて開催されました。

29日はサケのふるさと千歳水族館の学習室で講義が行われました。千歳水族館の菊池館長をはじめとする博物館や大学、研究所の先生方がサケの生態や昆虫の擬態、生物の持つ構造色やナメクジの粘液分泌機構に学んだ材料などについての講義を行いました。講義の間には千歳水族館内やバックヤード見学、サケへの餌やり体験も行われました。

30日は天気に恵まれ、千歳科学技術大学研究棟周辺や千歳湖などでの昆虫採集が行われ、千歳湖周辺ではノコギリクワガタやコクワガタ、カブトムシなどが採集されました。昆虫採集後は大学設備である電子顕微鏡を使用して昆虫の表面を観察し、それぞれの昆虫にはどのような構造があってどのような機能を持っているかを学びました。



◀餌やり体験の様子(29日)



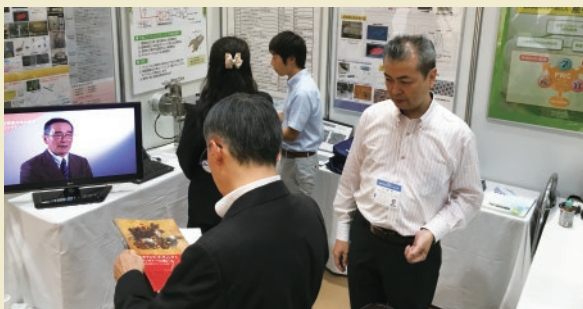
昆虫採集の様子(30日)▶

## 北洋銀行ものづくりテクノフェア2017に出展しました

2017年7月20日(木)アクセスサッポロにて開催された「北洋銀行ものづくりテクノフェア2017」において、本学で行っている「ナノテクノロジープラットフォーム事業」の紹介を行いました。

ナノテクノロジープラットフォーム事業とは、文部科学省にて2012年度から開始された事業で、物質合成に要求される先端機器群を供給し、産官学の研究者に対して合成に関するノウハウの提供、データ解析等を含めた支援を実施しています。

当日は、利用可能な機器の種類や成果物について来場者から多数の問い合わせがありました。



## 北海道札幌丘珠高等学校でeラーニング講習会を行いました

2017年6月16日(金)北海道札幌丘珠高等学校でeラーニングの使い方について講習会を行いました。

今回講習会を受講した生徒さんは、全員eラーニングによる学習が初めてでしたが、「丁寧に教えてもらったのですごくわかりやすかった」などの感想をいただきました。中には「自宅学習で苦手な教科を減らしたい」といった意欲的な声も聞かれました。



## 北海道札幌西陵高等学校と 高大連携協定を締結しました

2017年7月6日(木)、北海道札幌西陵高等学校(天田光彦校長)と本学(川瀬正明学長)の高大連携協定調印式を執り行いました。

今回の締結により、高大連携締結校は56校となりました。



## 北海道千歳北陽高等学校の生徒が 進路研究バス見学会により来学しました

2017年4月27日(木)北海道千歳北陽高等学校の1年生25名が、上級学校を見学し、自己の進路実現に向けた意識の向上と勤労観・職業観の育成を図ることを目的とした進路研究バス見学会により来学しました。

研究室見学では、人間と共存し生活を支援するロボットの開発が行われていることや、人工イクラ作成の実験を体験したり、世界初の非接触型による呼吸計測システムについての説明を受けました。

進路実現のためにこれから必要なことについて大学の講義スタイルで学んでもらい、参加者からは「理工学が身の回りの生活を支えていることが分かり、将来を決める判断材料が増えた」などの感想が寄せられました。



## 帯広第八中学校の生徒が 大学見学に来学しました

2017年5月17日(水)帯広市立帯広第八中学校の生徒35名と引率教員2名が大学見学に来学しました。

今回の来学は修学旅行の一環で、大学や専門学校等の上級学校について学習内容や施設を直に体験および見学し、進路選択に対する視野を広げることが目的でした。

最初に電子光工学科の長谷川誠教授から大学の紹介があり、続いて「偏光」について学習してもらいました。学習した後はその知識を使って、偏光万華鏡を生徒の皆さん一人一人に作っていただけ、科学について興味を持ってもらいました。



## 花壇の花植えを行いました

2017年6月4日(日)、菜園サークル・理工工場の学生らと職員が協力して、研究実験棟ロータリー内の花壇に花を植えました。当日は雨模様と、あいにくの天候になりましたが、参加者は熱心に手際よく作業を進めていきました。

後日、電子光工学科 福田誠教授作成のイルミネーションが設置され、夜の暗い中でも道行く人の目を楽しませてくれました。なお、当花壇は昨年に引き続き、公益財団法人ちとせ環境と緑の財団が主催する「第30回(平成29年度)花いっぱいコンクール」に参加しており、7月31日現在本審査への進出が決定しています。



▲植付けの様子

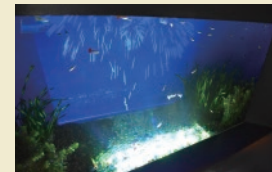


▲夜間:写真部による撮影

## ライトアート工房が 千歳水族館の展示を共同制作しました

2017年6月3日(土)より7月末までの期間、サケのふるさと千歳水族館にて、ライトアート工房と水族館の共同制作による「HANABI水槽」が展示されました。

水槽内では、ライトアート工房のプログラミングによる花火映像と水槽を泳ぐカラフルな魚たちのコラボレーションをお楽しみいただきました。



## ライトアート工房が苫小牧市の 「美術博物館祭」に参加しました

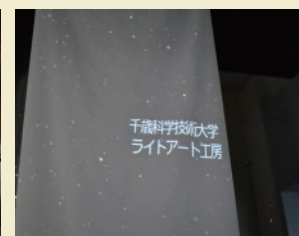
2017年7月28日(金)から30日(日)の期間に開催された、苫小牧市美術博物館「美術博物館祭2017」にライトアート工房が参加しました。

「苫小牧の自然と歴史を光アートでみてみよう!」と題して、「地層はざとり資料」と「アイヌの丸木舟」について、光とプログラミングを使った展示を行いました。

丸木舟展示室では、プラズマ光源を利用して室内に水面を表現したり、ライトアート工房の学生たちの歌とともに丸木舟に関するアニメーション作品が上映されました。

■期 間：7月28日(金)～30日(日)

■場 所：苫小牧市美術博物館



## 2017年度第1回オープンキャンパスを開催しました

2017年6月18日(日)、本年度第1回目のオープンキャンパスを開催しました。

当日は、天候にも恵まれ大勢の皆さんにご参加いただきました。

オープンキャンパスでは、学生スタッフが参加者の皆さんを笑顔でお出迎え。フリートークや学食体験などで、参加者の皆さんと学生スタッフが交流を深めました。また、模擬講義や研究室見学では、本学の学びや研究に触れていただきました。

この他、学生団体やサークルが「理工工房の科学教室」や「クラヤミラボ」を開催、研究・実験棟アトリウムでは研究室や学科によるイベントや展示などもあり、大盛況でした。

年4回開催しているオープンキャンパスでは、何度来ても楽しめるように、毎回プログラム内容を工夫して、開催しております。



オープンキャンパス  
今後の予定

9/24(日)・11/5(日)

入試に関するお問い合わせ/入試課  
TEL:0123(27)6011 FAX:0123(27)6076  
E-MAIL:nyushi@photon.chitose.ac.jp

## 新 教職員紹介

### ビジネスセンスを持った 情報システム技術者の育成

4月に情報システム工学科に着任し、27年振りに故郷・北海道での生活を始めました。前職のNTT研究所では、IPネットワークの研究と商用開発を行ってきました。インターネットやブロードバンド普及の時代から一歩進み、自動車や家電などあらゆるモノやコトがネットで情報システムと結びついた技術革新が進んでいます。交通・物流で顕在化している人手不足やインフラ老朽化など様々な社会問題に北海道も直面しています。センサネットワークなど新たなICTネットワークの応用研究で地域社会の発展と技術者育成に貢献していきたいと考えております。

社会に役立つ技術者には、通信や情報などの工学的知識に加え、経営や法規制などの社会知識や多くの人と協調するためビジネスセンスも重要です。これまでの企業経験から得たビジネスの知恵を学生の皆さんにお伝えしながら、楽しく創造的な研究ができるよう、私も成長しつづけます。よろしく願い致します。

情報システム工学科  
教授 三澤 明



### 着任挨拶

この4月に本学に着任しました。以前は道内各地で公立高校教諭、道立理科教育センター指導主事、道立高校管理職として勤務していました。石狩管内で勤務したことがありましたが、千歳市での勤務は初めてです。

大学では、教職課程の関連科目を主に担当しています。本学では、理科(中学・高校)、数学(中学・高校)、情報(高校)の教員免許の取得が可能で、毎年卒業生が道内の中学・高校の教諭として採用されています。

現在、中学・高校では百年に一度と言われる教育改革が進行しています。「何を教えるか」から「何ができるようになるか」への学習指導要領の改訂、生徒の力を確実に育むためのカリキュラム・マネジメント、アクティブ・ラーニング、ICTの活用…新任教諭に求められる資質・能力は以前にも増して高くなってきています。

本気で教員を目指す本学学生が、卒業時にこれらの力を確実に身に付けることができるよう、学生とともに一所懸命努めていきますので、どうぞよろしく願いいたします。



教職課程  
特任教授 宮嶋 衛次

### 職員紹介

キャリア支援課に配属となり約4ヶ月。直接学生と、その未来に関わることができる環境に身を置き、幸せと同時に様々な重みを感じています。近頃は学生と話す機会が増えました。もっとこうしたらよかった…と反省ばかりの毎日ですが、一つ一つ積み重ね「学生を正しく応援し、背中を押すことができる職員」となれるよう精進して参ります。今後ともご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

キャリア支援課キャリア支援係  
後藤 成美



4月から学生係にて勤務しております、吉田桃香と申します。まだ慣れないことも多く、毎日緊張しております。慣れないといえ、通勤途中に見える飛行機の大きさにも、まだ慣れていません。飛行機の大きな胴体が頭上を通り過ぎてゆくたびに、どきどきしてしまいます。今の目標は、慌てず、ひとつひとつ業務を進めていくことです。何卒宜しくお願い致します。

学生支援課学生係  
吉田 桃香



# 財務情報

## 貸借対照表

平成29年3月31日

【資産の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	9,437,737	9,497,330	△ 59,593
有形固定資産	5,676,428	5,739,101	△ 62,673
特定資産	3,758,957	3,756,251	2,706
その他の固定資産	2,352	1,978	374
流動資産	1,219,943	1,243,592	△ 23,649
資産の部合計	10,657,680	10,740,922	△ 83,242

【負債の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	131,366	118,352	13,014
流動負債	311,063	289,198	21,865
負債の部合計	442,429	407,550	34,879

【純資産の部】 (単位:千円)			
科目	本年度末	前年度末	増減
基本金	11,071,600	11,111,569	△ 39,969
第1号基本金	10,957,803	10,989,778	△ 31,975
第4号基本金	113,797	121,791	△ 7,994
繰越収支差額	△ 856,349	△ 778,197	△ 78,152
純資産の部合計	10,215,251	10,333,372	△ 118,121
負債及び純資産の部合計	10,657,680	10,740,922	△ 83,242

## 活動区分資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日  
(単位:千円)

収入		支出	
科目	金額	科目	金額
学生生徒等納付金収入	968,743	退職給与引当特定資産取崩収入	122
手数料収入	12,296	研究特定資産取崩収入	4,439
特別寄付金収入	11,165	預り金受入収入	303,595
経常費等補助金収入	243,689	立替金回収収入	6
付随事業収入	72,748	小計	308,162
雑収入	14,098	受取利息・配当金収入	42,605
教育活動資金収入計	1,322,739	その他の活動資金収入計	350,767
人件費支出	719,181	退職給与引当特定資産繰入支出	13,137
教育研究経費支出	445,875	研究特定資産繰入支出	7,467
管理経費支出	179,543	預り金支払支出	282,072
教育活動資金支出計	1,344,599	立替金支払支出	6
差引	△ 21,860	小計	302,682
調整勘定等	△ 6,306	その他の活動資金支出計	302,682
教育活動資金収支差額	△ 28,166	差引	48,085
調整勘定等	△ 6,306	調整勘定等	0
教育活動資金収支差額	△ 28,166	その他の活動資金収支差額	48,085
施設整備等活動による資金収支		支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 58,746
施設整備寄付金収入	50	前年度繰越支払資金	1,205,189
施設整備補助金収入	23,416	翌年度繰越支払資金	1,146,443
減価償却引当特定資産取崩収入	230,847		
施設整備等活動資金収入計	254,313		
施設関係支出	12,935		
設備関係支出	71,920		
減価償却引当特定資産繰入支出	217,510		
施設整備等活動資金支出計	302,365		
差引	△ 48,052		
調整勘定等	△ 30,613		
施設整備等活動資金収支差額	△ 78,665		
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	△ 106,831		

## 事業活動収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日

当該会計年度における「事業活動収入」及び「事業活動支出」の均衡状況、内容により経営状況を明らかにするもの。(単位:千円)

事業活動収入の部				
科目	予算	決算	差異	
学生生徒等納付金	988,028	968,743	19,285	
手数料	12,160	12,296	△ 136	
寄付金	8,000	11,165	△ 3,165	
経常費等補助金	185,221	243,689	△ 58,468	
国庫補助金	185,162	243,619	△ 58,457	
地方公共団体補助金	59	70	△ 11	
付随事業収入	41,684	72,748	△ 31,064	
雑収入	12,306	14,098	△ 1,792	
教育活動収入計	1,247,399	1,322,739	△ 75,340	
事業活動支出の部				
人件費	732,536	732,195	341	
教育研究経費(内減価償却額)	568,266	580,919	△ 12,653	
管理経費(内減価償却額)	195,054	194,653	401	
徴収不能額等	8,534	15,110	△ 6,576	
徴収不能額等	0	2,163	△ 2,163	
教育活動支出計	1,495,856	1,509,930	△ 14,074	
教育活動収支差額	△ 248,457	△ 187,191	△ 61,266	
収入の部				
受取利息・配当金	60,000	42,605	17,395	
教育活動外収入計	60,000	42,605	17,395	
支出の部				
借入金等利息	0	0	0	
教育活動外支出計	0	0	0	
教育活動外収支差額	60,000	42,605	17,395	
経常収支差額	△ 188,457	△ 144,586	△ 43,871	
特別収入の部				
資産売却差額	33,000	0	33,000	
その他の特別収入	0	30,508	△ 30,508	
特別収入計	33,000	30,508	2,492	
特別支出の部				
資産処分差額	0	4,043	△ 4,043	
その他の特別支出	0	0	0	
特別支出計	0	4,043	△ 4,043	
特別収支差額	33,000	26,465	6,535	
予備費	(2,547)		7,453	
基本金組入前当年度収支差額	△ 162,910	△ 118,121	△ 44,789	
基本金組入額合計	△ 12,470	0	△ 12,470	
当年度収支差額	△ 175,380	△ 118,121	△ 57,259	
前年度繰越収支差額	△ 778,196	△ 778,196	0	
基本金取崩額	0	39,968	△ 39,968	
翌年度繰越収支差額	△ 953,576	△ 856,349	△ 97,227	

(参考)			
科目	予算	決算	差異
事業活動収入計	1,340,399	1,395,852	△ 55,453
事業活動支出計	1,503,309	1,513,973	△ 10,664

## 資金収支計算書

平成28年4月1日から平成29年3月31日

当該会計年度における教育研究活動等諸活動に対応するすべての収入・支出の内容、及び当該会計年度における支払資金の収入・支出のてん末を明らかにするもの。

【収入の部】 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	988,028	968,743	19,285
手数料収入	12,160	12,296	△ 136
寄付金収入	8,000	11,215	△ 3,215
補助金収入	185,221	267,105	△ 81,884
国庫補助金収入	185,162	267,035	△ 81,873
地方公共団体補助金収入	59	70	△ 11
資産売却収入	335,000	0	335,000
付随事業・収益事業収入	41,684	72,748	△ 31,064
受取利息・配当金収入	60,000	42,605	17,395
雑収入	9,022	14,098	△ 5,076
前受金収入	164,410	196,520	△ 32,110
その他の収入	556,768	568,115	△ 11,347
資金収入調整勘定	△ 185,306	△ 242,691	57,385
当期資金収入合計	2,174,987	1,910,753	264,234
前年度繰越支払資金	1,205,190	1,205,190	
収入の部合計	3,380,177	3,115,943	264,234

【支出の部】 (単位:千円)			
科目	予算	決算	差異
人件費支出	732,536	719,181	13,355
教育研究経費支出	430,381	445,875	△ 15,494
管理経費支出	186,520	179,543	6,977
施設関係支出	8,960	12,935	△ 3,975
設備関係支出	94,825	71,920	22,905
資産運用支出	515,647	238,114	277,533
その他の支出	368,331	374,729	△ 6,398
予備費	(3,446)		11,554
資金支出調整勘定	△ 69,848	△ 72,797	2,949
当期資金支出合計	2,278,906	1,969,500	309,406
翌年度繰越支払資金	1,101,271	1,146,443	△ 45,172
支出の部合計	3,380,177	3,115,943	264,234

## 千歳光科学国際フォーラム(CIF18)の開催について

今回のフォーラムでは、「観光」を切り口として、商業／観光の振興と環境保護の促進を両立させるという側面から「持続可能なまちづくり」についてこれらの分野で著名な有識者による「特別講演」と、市民と講演者による「パネル討論会」を開催いたします。2日目は会場を大学に移し、国内外の研究者を招聘し、最新技術を活用した観光や環境関連の最新研究成果などを発表する予定となっております。特別講演への参加は無料となっておりますので是非お越しください。

■日時：平成29年10月9日(月・祝)14:00~17:30 ※開場は13:30  
■会場：ANAクラウンプラザホテル千歳

### 特別講演

#### “観光の魅力づくりの7つの大事(食とおもてなし考)”

日本旅のベンクラブ代表  
中尾 隆之氏



#### “自然に学ぶ新しい暮らし方のかたち”

合同会社  
地球村研究室・東北大学名誉教授  
石田 秀輝氏



## 第19回稜輝祭を開催します

お笑い芸人の「TKO」、「オジソズボン」が第19回稜輝祭(大学祭)にてライブを行います。また、稜輝祭では本学YOSAKOIソーラン部による演舞や移動動物園など、小さなお子様も楽しめるイベントを多数企画しております。無料でどなたでもご参加できますので、ご家族・ご友人をお誘い合わせのうえ、是非ご来場ください。

当日のプログラムは決まり次第本学ホームページでお知らせします。

■日程：10月15日(日)11:00~15:30(予定)  
■場所：本学本部棟



▲TKO

▲オジソズボン

## 編集後記

今号の表紙では本学のYOSAKOIソーラン部「光一天」の活躍をご紹介しました。今年でYOSAKOIソーラン祭出場10回目という節目を迎えた「光一天」は、地域でも様々なイベントにお声がけいただき演舞しています。本学には他にも、地域と結びついて様々な活動をしている部・サークルや教員らが沢山います。

今後は彼らの活動も折に触れてご紹介していきたいと考えています。これからも千歳科学技術大学をよろしくお願いたします。

## 2017年度千歳科学技術大学 父母懇談会を開催します

本年度も学習、就職支援などの本学における取り組みや状況について説明させていただくとともに、個別相談などを通じて、本学へのご理解を一層深めていただくことを目的として父母懇談会を開催いたします。

午前は全体説明会や学習について、午後からは学習・生活に関する個別相談、または就職セミナー(企業担当者による講演、内定学生による就活体験報告会、就職個別相談)のいずれかを選択してご参加いただけます。皆様のご出席をお待ちしております。

なお、父母の皆様には別途、ご案内文書を郵送しております。

■日時：平成29年9月30日(土)10:00~16:00(※9:00受付開始)  
■場所：本学 本部棟 ■対象：全学年の保護者

父母懇談会に関するお問い合わせ  
学生支援課学生係 TEL:0123-27-6170 FAX:0123-27-6128  
E-MAIL:gakusei@photon.chitose.ac.jp

## 寄付に感謝申し上げます

本学の教育活動、学生支援に対しまして、多大なるご理解とご支援を賜り、深く感謝申し上げます。

今後とも、本学の教育研究活動、教育環境整備、学生支援に皆様からのご協力をいただけますようお願いいたします。

■寄付者ご芳名(平成29年4月1日から7月31日まで)

渋谷 進一郎 阿保 静夫 木下 隆政 及川 久耕  
植田 美恵 中山 輝之 金川 直人 伊藤 正一  
阿部安希子 武山佳世子 岩淵 誠 石川 一則 敬称略

## 本学へのご寄付のお願い

本学では、皆様からのご芳志を教育・研究活動の一層の充実と学生生活向上のため、幅広く有効に活用させていただいております。

理学と工学を横断する理工学部で、科学から技術までを体系的に教育・研究する本学の取り組みをご理解いただき、多くの皆様に本学の募金活動に対するご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

ご寄付に関する詳細につきましては、本学ホームページをご覧ください。



## 大学公式!

### TwitterとInstagramで情報発信中!

本学のイベント情報や学内の様子、何気ないつぶやきなどジャンルを問わず、ゆるっと発信しています。

Twitter、InstagramどちらもIDは@cistkohoで検索ください。



Twitter



Instagram